

2013年度 一般社団法人 日本石材産業協会 第2回常任理事会 議事録

日 時：2013年8月29日（木）10：30～17：00

場 所：連合会館 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

- I. 開 会 司会進行：中江専務
- II. 会長挨拶 もし何もかもすべてが叶うとしたらという問いに関して、多くの方が家族と共に何かをしたいと回答されていた。先日の都営樹林墓地の募集では10倍近い倍率だったそうです。購入した方のインタビューで、子供たちに迷惑をかけたくないから選んだと話していた。墓守は負担ではなく大切なことと思い出してもらって活動をしていきたい。
- III. 議 事
1. 議長選出：岸本達也副会長 議事録作成人：事務局 星野みゆき
 2. 定足数の確認：常任理事：出席35名（37名中）監事2名（3名中）顧問：1名
役員候補者管理委員長1名 事務局：3名 合計42名
 3. 議事録署名人の指名：井口副会長、斎藤監事
 4. 資料及び議案の確認・新議題の採択 なし
- *2013年度第1回常任理事会・第1回理事会・第3・4回正副会長会議議事録確認（事前配信済）

■■審議事項■■

(1) 入退会者について 中江専務（資料：審議 P1～）

※入会：愛知県(株)中部石工 設立年月・昭和×→平成へ修正 ⇒全会一致可決

※退会：(有)鈴木石材店 会員種別 J×→Aへ修正 ⇒異議なし自動承認

(2) 【年次実行委員会】年次大会2013報告について 戸高委員長（資料：審議 P8～）

すべて無事に終了しました、ご協力ありがとうございました。

決算報告より説明。

関東圏内の参加・協力が少ない。今後の課題。継続して参加を呼びかけていく。

川本副会長：これだけの規模の大会を70万円以内でできたことは皆さまの協力のおかげ。

2014年度実行委員長→戸高氏続行

⇒全会一致可決

(3) 【定時総会】第4回定時総会及び懇親会について 中江専務（資料：審議 P11～）

菅原一秀経済産業副大臣にご挨拶いただいたが、今後も引き続き協力を仰ぎたい。

⇒全会一致可決

(4) 【新フェア委員会】NIPPON石博について 二上委員長（資料：審議 P13～）

「身近に石のある暮らしの豊かさ」に特化して、石素材の素晴らしさをアピールしていく。

一般生活者の方に「見て、聞いて、体験」していただくことを中心に企画したい。

●現時点でのアイデア（案）

- ・メインに石の恐竜化石オブジェを展示。
- ・4つのパートにコーナーを分ける。（歴史文化・伝統工芸品・加工・体験）
- ・プチお墓検定 ・石窯ピザ ・お墓相談 or 終活相談 ・レムジアショー

福川副会長：夕方から石あかりも検討中。部会の皆さまには是非協力を依頼したい。

新田地区長：墓石だけでなく建築石材等は考えているのか。
二上委員長：内容は今後詰めていくので検討していきたい。
柴田委員長：他業種とのコラボレーションはバランスをどうするのか。
二上委員長：お墓に特化することは避けなければならない。
長江副会長：上野という立地（寛永寺～谷中）を活かし、歴史と文化を含めたらどうか。伝統工芸品と共にミニ庭園など癒しのコーナーを設けて欲しい。パンダの置物を親子連れ向けに作成しては。
二上委員長：大河ドラマを絡める案は出ている。寛永寺含め、紹介していければ。面白いアイデアなので制作費を含め検討したい。
福川副会長：ようやく場所が決定したところ。あと半年という短い時間しかない。多くの皆さまに積極的に委員会に参加してアイデアを出して欲しい。
石本地区長：反対。ブームに沿っていない。マスコミは見向きもしないのでは。費用対効果をもっと考えたほうが良いのでは。
上野委員長：行う方向でみんなが前向きな意見を出し合うことが大事。マスコミにアピールするには正味3ヶ月しかない。
越智地区長：企画内容次第かと思う。インパクトが弱い。地方から見ると遠い東京の事業。マスコミ（TV）が飛びつく目玉が必要。
小柴地区長：ようやく我々業界も戦に向けて動き始めたと感じる。お墓相談コーナーに関して、樹木葬などにも対応するべき。
熊野部会長：昨日の会議に少し参加したが、現段階でお二人だけで動いている。中途半端にスタートしている感がある。仕切り直しも検討したらどうか。
二上委員長：ご指摘はもっともだと思う。9/10の委員会で更に詰めていく。
犬塚副会長：石産協は皆で作っていく会。建設的な意見が欲しい。意見がある方は参加するべきと思う。

⇒賛成多数可決

(5)【広報委員会】秋分の日『お墓参りの日』啓発事業 上野委員長（資料：審議 P16～）

9/23『お墓参りの日』が認定された。周知徹底を目指す。
一般生活者へのアンケート結果からも秋分の日は先祖を敬う（お墓参りを行う）日ということ
は知られていない。ポスターを作成、全会員へ配布しキャンペーンを打ちたい。
石本地区長：春分の日、お盆、正月もある。9/23 限定は外してほしい。もう少し時間をかけて
議論した方が良いと思う。
上野委員長：委員会として秋分の日に的を絞って広報したい。
新田地区長：11/14（いいいしのひ）の制定はどうなっているのか。
上野委員長：11/14 は山梨県石材加工業協同組合で登録済み。
柴田委員長：お墓参りの啓蒙事業としては良い。ただ、秋分の日は宮中行事・秋季皇霊祭から
来ているので協会として制定してしまうのはいかがか。各地域の意見も必要かと思
う。お寺との絡みもあり協会でも日にち限定するのは慎重になるべき。
上野委員長：委員会でも議論はあったが、ひとえにお墓参りに行って欲しいとの思いからの提

案です。

小柴地区長：先祖を敬う日とやわらかい表現にしたら。

⇒賛成多数可決。白票 4

(6) 【研修】お墓 D1 級更新講習について 山口委員長 (資料：審議 P19～)

一つのテーマで 400～800 字程度のレポートを提出することとする。

⇒全会一致可決

■■ 協議事項 ■■

(1) 北海道地区全体会議について 越智地区長 (資料：協議 P21～)

2014/2/26『日本・日本人』をテーマに講演会等を開催。幸ふくろう運動 (10 月末) も同時実施。

講師は中国の石平氏を検討中。ご存知だったら情報が欲しい。

戸高委員長：登録料 50 名の構成は？

越智地区長：ほぼ道内の会員が登録する予定。もっと多くの参加はあると思うが、登録収入は低く見積もっている。

※実施日・会場・講師・幸フクロウ事業→部分審議へ ⇒全会一致可決

(2) 【お墓D委員会】新テキストについて 中村委員長 (資料：協議 P25～・追加 P1)

新テキスト目次一覧を作成。「日本人のお墓」のリニューアルと新しい項目を足したもの。

9 月から執筆の依頼をしたい。

⇒次回理事会審議へ

(3) 【次世代ネットワーク委員会】茨城ストーンフェア研修会について 大川委員長 (資料：協議 P30～)

いばらきストーンフェスティバル開催日に合わせて 11/1 青年石材人交流会を開催。

丁場見学 3 か所 (稲田、笠間、羽黒糠目) も予定。青年部長連絡会議を併せて開催。

友常部会長：稲田石材組合青年部が全面的にバックアップする。

⇒次回正副審議へ (詳細提出)

(4) 年会費改訂について 戸高委員長 (資料：協議 P32～)

前回の理事会の意見を受け、会費の値上げ幅を引き下げた額を提案。

中江専務：事務局長、専務理事の有給採用を事業目的とするのはいかがか。厳しいのは実情。

各支部の意見を吸い上げ、それから検討でも良いのではないか。

山野地区長：支部会費も払えない人もいるが、良いと思う。

岡本地区長：実際、値上げは厳しいかと思う。値上げ理由のより周知が必要。

岸田地区長：反対するわけではないが、目的を含め少し詰めないと各支部への説得は難しい。

石本地区長：区分ごとの値上げ幅がおかしい。

鈴木地区長：支出の見直しも必要。

小柴地区長：値上げの明確な根拠が必要。

菊地地区長：同じく値上げの明確な根拠が必要。

越智地区長：値上げ理由を明解にしないと支部長から会員への説明が難しい。

⇒継続協議

■■報告・依頼・確認事項■■

(1)九州・沖縄地区全体会議について 山野地区長（資料：報告 P33～）

11/13.14 初めての地区会議。各支部の会員が顔を合わせることを一番の目的とし親睦を深める。参加動員目標の 100 名は厳しい。射場会長には地区会員を激励し元気を与えてほしい。

上野・中村・二上各委員長へも協力依頼。地区会員はほぼ初めてとなる小畠氏の講演 90 分有り。

(2)【広報委員会】記念日 お墓参りの日 制定について 上野委員長（資料：報告 P35～）

一般社団法人日本記念日協会に申請→制定。リサーチ会社ネット調査のクロス集計結果をプレスリリースに流す。

(3)【広報委員会】会員支援ツールについて 上野委員長（資料：報告 P37～）

一般生活者へのアイキャッチ（擦り込み）が目的。のぼり、車両用ステッカー、ロゴシール、多くの注文をお願いします。

(4)【広報委員会】終活読本について 上野委員長（資料：別添カラー）

就活読本ソナエ 45,000 部発行。都市部に集中、地方苦戦。

(5)【次世代育成 NW 委員会】第 10 回庵治 SF 青年部交流会後援と参加 大川委員長（報告 P39～）

協賛金支出備考欄、石飛会→石翔会（誤字）

(6)【次世代育成 NW 委員会】年次大会次世代ワーク及び石材人交流会（資料：報告 P42～）

充実したワークショップ開催、情報交換が出来た。

(7)【社会調査委員会】委員会議事録より 柴田委員長（資料：報告 P45～）

行政としては、お墓は必要ないという方向性。

石産協としては消費者目線での墓理法を考えていきたい。

(8)【お墓D】出版契約継続中止の通知（小畠氏より） 中村委員長（資料：報告 P47）

今後、日本人のお墓の増版はしない。検定試験にも使用しない。

(9)【国際関係委員会】日中石材交流会について 谷本部長（資料：報告 P48～）

中国工場の品質が向上しない。建築、職人不足。

(10)【研修委員会】お墓物語について 山口委員長（資料：追加 P2～）

上位優秀 3 作品決定。最優秀は再度検討。入選 33 品の構成づくり、動画作成開始。

(11) 行政への 3 団体会合について 井口直前（資料なし）

7/8 全優石主催・東京都霊園問題研究会へ参加（井口直前、中江専務、田代支部長）

今後も継続して参加予定。

(12) 吉岡盛二郎氏（会員）からの要望について 中江専務（資料：報告 P50～）

協会としては常任理事への報告まで。

(13) 年間スケジュール（2014 年 6 月まで） 中江専務（資料：報告 P52）

資料確認。

(14) 役員候補者管理委員会（7/22：第 1 回委員会開催） 太田委員長（資料なし）

現状報告。41 名の会長立候補資格者へ通知。8/23 締め切り。

立候補は射場現会長 1 名。役員を選定に関する規則第 9 条により無投票当選。

10/3 理事会での選挙はなし。

副会長→地区会議の議事録を添付提出（2 月頃までの予定）

(15) 公共石材工事 白木副会長 (資料：報告 P53~)

希望の会員へは報告書を CD 等にまとめて送る。(実費)

(16) 協会名を騙る業者への対応 中江専務 (資料：追加 P4~)

通知文を送り、戸部顧問弁護士を通じて厳重に対応中。

(17) 厚生労働省・経産省墓石関係担当者勉強会について／全国石製品協同組合より (資料：追加 P7)

9/17、3 団体話し合いに会長が参加。

(18) 都立八柱霊園合葬式墓地・駐車場等の件について

都立八柱霊園に建設予定の合葬式墓地 10 万体の収容。新規駐車施設なし。都に問い合わせたところ→松戸市の基準・解釈で許可がでている。引き続きホームページ等で公共交通機関を利用するよう呼びかける。との回答。継続的に 3 団体で協力して行政へ働きかけていく必要がある。

(その他)

・倒産に伴う会員の手続きについての対応 (中江専務：資料なし)

→1 年間の猶予をとり対処する (戸部顧問弁護士より) 今後継続して検討していく。

【その他報告】

渉外担当：3 団体、公益を目的とした立場の協会として対応していく。

(部会)

原石採石：福島にて合同部会開催予定。

加工：原石採石と合同。

関連：9/11 大阪にて 10/2 東京にて 大阪・東京にて展示会開催検討中。

建築環境：中国との継続協議。建築石材アドバイザー試験、一般 21 名、上級 3 名の申込み。

輸入卸商：DVD 制作、ミャンマー視察ツアー企画中。

墓石：お墓の取り扱い説明書完成間近。契約書ひな形作成中。石造物の調査保存、継続討議。

墓埋法、各地区長・支部長へ協力要請。

(委員会)

年次実行：次回理事会までに場所の選定含め内容を検討。

お墓 D：プチ検定を検討中。新テキスト作成に向け精力的に動いている。

広報：ホームページ構築に関し受け皿が足りない。ご意見番募集！グッズ注文してください。

社会調査：墓埋法、事例が欲しい。産地証明書、石産協の名前が入っている以上は協会員への発行。

次世代育成：いばらきストーンフェスティバル研修への協力依頼。

新フェア：石博は協会の事業。ご協力を強くお願いします。11/13 九州にて実行委員会を開催。

(地区)

北海道：9/25 役員会。10 月末幸ふくろう設置。

東北：9/10 福島郡山にて地区長会議開催。

南関東：次年度役員改選。

東海：9 月地区会議予定。

北陸：お墓相談室 9 月 10 月に 2 回開催。

近畿：奈良県支部にて燈花会へ石あかり小径の参加。

四国：徳島県支部 阿波踊りの期間中 CM 放映。10 月相談室開催。

愛媛県支部 11 月お墓相談室開催。

香川県支部 終活フェア開催。石あかりロード協力、お墓参りキャンペーンティッシュ配布。

9 月中、松山にて支部長会議。

九州沖縄：初の地区全体会議に向け精力的に動いている。若い世代と是非交流し啓蒙して欲しい。

福岡県支部会員に支部費滞納者がいて困っているので助言を。

太田委員長：久しぶりに理事会の熱い意見交換を聞いて良かった。供養の大切さを広めることは重要。

太田副会長：採石原石・加工・関連の 3 つの部会がうまく連動して活動している。

経済産業省主催の講習会へ 4 名の方に参加いただいた。後継者育成が必要。

井口副会長：なら燈花会参加。レポートは石産協通信掲載。支部会費の検討は必要。

山口副会長：次期研修委員長、大代賢太郎氏承諾。お墓物語を有効活用してほしい。

戸部弁護士：非会員の協会名を騙ったケースは不正競争防止法にもあたる可能性もある。厳重に対処することが大切。会費未納退会の件、問題は総会の招集通知が届かないこと。

【監事講評】

村田監事：「お墓を売る事」から「石を売る事」に変えたらどうか。石はワビとサビが作れる素材。

斎藤監事：新フェアは是非とも成功させなければならない。宿泊先等、きめ細かい対応を。

IV. 閉 会

2013 年 8 月 29 日

議事録署名人：副会長 井口 功 ㊞

議事録署名人：監 事 斎藤勝実 ㊞

議 長：副会長 岸本達也

議事録作成人：事務局 星野みゆき